

茨城県鹿島工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

鹿島工業用水道事業は、鹿島臨海工業地帯に立地する企業に対し豊富低廉な工業用水を安定的に供給することを目的としている。

○事業の経緯

本事業は、進出企業の立地状況及び工業用水の需要に応じて3段階に分けて施設整備を行った。

(1) 第1・2期事業

鹿嶋市・神栖市に立地する企業に工業用水を供給するため、810,000m³/日の施設能力で昭和41年から建設を始め、昭和44年2月に一部給水を開始し、昭和52年に施設が完成した。

なお、施設の老朽化に伴い、平成10年度～20年度にかけ改築事業を実施している。(事業費144億円)

(2) 第3期事業

神栖市に立地する企業に工業用水を供給するため、当初535,000m³/日で計画され昭和47年度に着工し、昭和53年からは300,000m³/日に計画を変更して建設を進めてきたが、オイルショック等による産業構造の変革及び水需要の減退により昭和59年度から建設を中断した。

その後、県の内部調整・契約企業との協議を経て、平成3年度から施設能力75,000m³/日で建設を再開し、平成6年度に給水を開始した。

利根水系の霞ヶ浦導水事業の開発水量を削減することに伴う水道用水への転用により、平成15⁴1月に計画水量を150,000m³/日に変更した。

○給水系統図を含む給水区域図

別図参照

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

鹿島1・2期		鹿島3期	
業種	給水先	業種	給水先名
化学	22	化学	19
食料品	5	食料品	3
窯業	4	窯業	2
木材	3	鉄鋼	2
金属	3	熱供給業	2
熱供給	2	その他	2
石油製品	1	金属	1
鉄鋼	1	電気機械	1
電気業	1	電気業	1
その他	1	繊維	1
合計	43	水道業	1
契約水量	809,880m ³ /日	家具・装飾品	1
		合計	36
		契約水量	74,420m ³ /日

○工業用水道施設の概要

(1) 第1・2期事業

鹿島工業用水道第1・2期事業は、北浦を水源とし、第1期事業は武井取水ポンプ所からφ1500mmの導水管により7.6km離れた鹿島浄水場へ導水し、第2期事業は、爪木取水ポンプ所からφ2000mmの導水管により380m離れた鹿島浄水場へ導水している。

浄水場内では、第1期事業は20万m³/日、第2期事業は60万m³/日の浄水配水施設が整備され、鹿嶋市、神栖市の企業等へ給水している。

配水管は、第1期事業が管径1500～100mm、延長約40kmで、第2期事業が管径2100～100mm、延長約38kmである。

また、第1期事業については、地下水を1万m³/日の施設で給水している。

(2) 第3期事業

鹿島工業用水道第3期事業は、鱈川の取水地点から鱈川浄水場へ導水している。浄水場内では、7万5千m³/日の浄水配水施設が整備され、神栖市の企業等へ給水している。

配水管は、管径1500~100mm、延長約39kmである。

重化学コンビナートを中心としており、給水企業の過半数が化学工業関連企業である。

○事業の特徴

鹿島臨海工業地帯は鹿島港周辺の臨海部に在る

○茨城県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/kigyou/>

○茨城県鹿島工業用水道事業概要図

概要図

